

初期生育は旺盛。中干しは、茎数を確認し 茎数過多にならないよう早めに実施！

1 生育概況

5 月中旬以降気温が高い日が続いたため、生育は順調で、茎数は指標より多くなっています。

○生育状況 (指標比・差)

コシヒカリ	草丈:並	茎数:多い	葉数:早い
こしいぶき	草丈:長い	茎数:多い	葉数:早い
新之助	草丈:長い	茎数:多い	葉数:並

○調査結果 (平均値) ※調査ほごとの数値は次ページを参照

	草丈 (cm)			茎数 (本/m ²)			葉数 (葉)		
	本年	指標比	前年比	本年	指標比	前年比	本年	指標差	前年差
コシヒカリ	24	104%	109%	156	184%	223%	5.6	+0.8	+1.1
こしいぶき	25	125%	132%	218	168%	279%	6.7	+1.7	+2.4
新之助	31	124%	163%	118	131%	140%	5.2	+0.2	+0.6

2 今後の気象 [北陸地方 1 か月予報 (5/30-6/29)、新潟地方气象台発表]

平均気温は高く、6 月 5 日まではかなり高くなる見込みです。

3 今後の管理

- 活着後は水深 2 ~ 3 cm の浅水管理で、初期分けつの発生を促しましょう。
- ワキや表層剥離の多いほ場では、夜干しを実施しましょう。
- 気温が高いため茎数が急激に増加しています。中干しは田植後 25 日で茎数を確認し、遅くとも田植後 30 日までには開始しましょう。

「コシヒカリ」の中干し開始適期の茎数のめやすは、平坦地では目標穂数 (360 本/m²) の 7 ~ 8 割、50 株植えて 17 ~ 19 本/株、60 株植えて 14 ~ 16 本/株です。

- 溝切りは必ず実施し、排水効果が高まるよう確実に排水口につなげましょう。
- 昨年の干ばつ等の影響で水がたまりにくいほ場や、用水が極端に減少している場所では、通常よりも弱い中干しにとどめ、強い中干しは避けましょう
- 雑草の発生が見られるほ場では、早めに中・後期除草剤を施用しましょう。
- いもち病の伝染源となる補植苗は直ちに除去しましょう。

新之助等のいもち病に弱い品種で、葉いもち箱施用剤を施用しなかったほ場では、水面施用剤による葉いもち防除を確実に行ってください。

問い合わせ先 上越農業普及指導センター作物担当 (電話025-526-9406)

【参考】生育調査結果

	田植日	草丈(cm)			茎数(本/m ²)			葉数(葉)			調査日	
		本年	指標比	前年比	本年	指標比	前年比	本年	指標差	前年差		
コシヒカリ	下稻塚	5/11	28	122%	117%	287	338%	383%	6.4	+1.6	+1.5	6/1
	南新保	5/9	24	104%	104%	107	126%	155%	5.8	+1.0	+1.2	5/29
	岩野	5/20	18	78%	78%	96	113%	125%	4.5	-0.3	-0.1	5/29
	上百々	5/18	27	117%	150%	134	158%	231%	5.8	+1.0	+2.0	6/1
	関山※	5/20	25	109%	156%	116	151%	141%	5.1	+0.8	+1.4	6/1
コシヒカリ	下稻塚	5/10	24	120%	109%	286	220%	311%	7.0	+2.0	+2.4	6/1
	潟町	5/10	26	130%	163%	150	115%	238%	6.4	+1.4	+2.4	5/29
新之助	下稻塚	5/16	29	116%	145%	134	149%	181%	5.1	+0.1	+0.5	6/1
	吉崎	5/15	32	128%	178%	101	112%	109%	5.2	+0.2	+0.6	5/29

※の地点は、前ページ調査結果の平均に含まない。

問い合わせ先 上越農業普及指導センター作物担当(電話025-526-9406)